

## 平成 24 年度「健康日本 21 福岡市計画」推進会議議事録（要旨）

- 1 開催日時 平成 25 年 2 月 28 日（木）15:00～16:00
- 2 開催場所 天神クリスタルビル 3 階 大ホール
- 3 会議次第

- 1 開 会
- 2 議 題
  - 議題 1 健康日本 21 福岡市計画の結果と課題について
  - 議題 2 次期の健康日本 21 福岡市計画（案）について
- 3 閉 会

- 4 出席委員 健康日本 21 福岡市計画推進会議委員 36 名（代理出席を含む。）  
欠席委員：神坂登世子委員、脊戸俊介委員、田中宏暁委員
- 5 報道機関取材者及び傍聴者  
報道機関：無 傍聴者：1 名
- 6 議長 健康日本 21 福岡市計画推進会議設置要綱第 5 条により、会長である福岡市長が議長を務める。
- 7 議事概要
  - 議題 1 健康日本 21 福岡市計画の結果と課題について

（質問・意見）

委員	特になし
----	------

## 議題2 次期の健康日本21福岡市計画（案）について

### （質問・意見）

委員 現行の計画の目標は40歳から50歳代の壮年期、いわゆる働き盛りの世代の死亡率を下げることであったが、平成14年と22年の壮年期の疾病別死亡率（人口10万人対）を比べると、改善されており、良好な結果となっている。

とりわけ悪性新生物（がん）の死亡率が大きく下がっている。

これは、福岡市のこれまでの検診等の取組みが功を奏したのか、この数値が全国と比べてどうかなど、市民へ受診を勧める際にこのようなデータがあると説得力を増すであろうし、今後の効果的な取り組みのためにも、今回の結果についてさらに分析してはどうかと思う。がんの死亡率減少についてどのように分析しているか。

事務局 死亡率が減少した要因についてはもう少し詳しい分析が必要だが、一つにはがん検診の受診率が少しずつ上がっているということがある。そのほか、医療の発達によりがんの生存率が上がってきたこともあると考えている。

今後、さまざまな方法を工夫しながら、がん検診の受診率向上等を図り、早期発見・早期予防に努め、さらに健康づくりを推進していきたい。

委員 平成20年度の特健診制度開始後、他の保険者同様、協会けんぽ特定健診も市町村がん検診と同時に受けることができなくなっていたが、昨年度からショッピングモールなどで福岡市のがん検診やよかドック（国保特定健診）と同時実施をしてもらっており大変感謝している。今後とも連携を深めていきたい。

委員 たばこ対策について、ある程度進んできたと思うが、まだまだこれからも取組みが必要である。

- 事務局 平成 25 年度には、福岡市たばこ行動指針の改定を予定している。それに伴い、受動喫煙対策の一層の推進に取り組むが、今後も、関係機関等にご協力をいただきたい。
- 委員 福岡市衛生連合会は地域で健康づくりに取り組んでいる団体であるが、新しい計画の中に健康ふくおか 10 か条の認知度に関する数値目標が掲げてあり、また健康出前講座などの新たな施策も検討されており、われわれとしても、さらに地域の健康づくりをすすめていきたい。
- 議長 計画（案）は 3 月 15 日から 4 月 15 日にパブリックコメントを行う予定。  
健康づくりポイント制度の検討や、健康づくりサポートセンターによる重症化予防の取組みなど、さっそく 25 年度から取り組む予定である。  
健康づくりのためには、高齢者の社会参加や生きがいづくりも非常に重要であり、来年度の新規事業として、60 歳になった方々による「還暦式（仮称）」を考えている。
- 事務局 次期計画の推進にあたっては、この会議の構成等についてもあらためて検討したいと考えており、今後とも協力をお願いしたい。